

平成 30 年度古河市外国語活動時間数

学年	国指定の活動時間	市独自の活動時間	総活動時間
1・2	0時間	10時間	10時間
3・4	15時間	20時間	35時間
5・6	50時間	—	50時間

1・2 学年を含め、全学年で外国語活動を実施することで英語に慣れ親しむ環境を作っています。

英語特区事業
1年生から始める外国語活動

1・2 学年の子どもたちにとって、年間10時間という限られた外国語活動の時間は、とても貴重な時間です。

授業中、子どもたちからは終始笑顔があふれ、大好きなALTと一緒に、楽しく英語を学んでいます。

ネイティブの発音にふれながらゲーム感覚で体を動かしたり、英語を発音することを楽しむ中で、外国の文化を身近に感じながら、英語への関心や基本的な表現力を養います。



▲エド先生の掛け声で一斉に集まる古河七小の児童たち

小学校1・2学年からスタートする
市の英語教育の流れ

市では、子どもたちがスムーズに外国語活動に適應できるように、平成29年度から特区事業として1・2学年から年間10時間英語に触れる時間を作り、「英語って楽しい!」と感じる心を育んでいます。

1・2学年の授業は、アクティビティやスポーツ、レクリエーションを通じて体を動かしながら楽しく学べる内容になっています。



3・4学年は、国で指定されている年間15時間の外国語活動に市独自の20時間の活動を追加しています。

し、コミュニケーションを図る上で必要な「聞く」「話す」能力を育んでいます。5・6学年の年間50時間の外国語活動にスムーズに対応できるような構成になっています。

ALTとふれあい英語を楽しむ
KOGA ENGLISH CAMP

7月31日と8月24日に、ネーブルパークで「KOGA ENGLISH CAMP 2018」を開催し、96人の児童が参加しました。

この活動は、アメリカやケニア等さまざまな国出身のALTと一緒に体を動かしたりバーベキューをしたりしながら、アクティビティ学習や国際的感覚を養うものです。

参加した子どもたちは、慣れない英語でのコミュニケーションに戸惑うことなく、楽しそうに英語を学んでいました。



▲ケニアの文化に興味津々な子どもたち



地域と連携した
英語教育を目指して

～グローバルに活躍できる人材を古河市から～

市では、子どもたちの英語でのコミュニケーション能力を高め、グローバル社会で活躍できる人材を育てるために英語特区事業を進めています。

今回の特集は、鈴木教育長にこれからの古河市の英語教育について伺いました。

英語特区としての取り組み

世界共通語になるであろう英語にできるだけ若いうちに関わり、世界で活躍できる人材を古河市から輩出したいという思いから、平成29年度に英語特区の取り組みをスタートさせました。

小学校における外国語活動は、子どもたちがいかに英語に興味関心を持ち、楽しいと感じられるかが重要です。そのために市では、担任教諭とALTが連携しながら英語の授業構成を考え、子どもたちが楽しく学べる授業を心掛けています。

現在、英語特区として小学校1・2学年時に年間10時間の外国語活動、3・4学年では国が指定する15時間に加え、特区として20時間の外国語活動を追加して実施しています。

5・6学年の外国語活動では、年間50時間の活動で「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション



古河市教育長 鈴木 章二

ション能力の基礎を身に付けます。さらに、今年の7・8月には、初めての試みとなる古河イングリッシュキャンプを開催したところ、当初の予想を上回る多くの子どもたちから応募がありました。

参加した子どもたちが積極的に英語を使って遊ぶ姿を見て、英語に対する意識の高さや興味深さがうかがわれ、効果を実感しました。

「楽しい」を成果に

まずは英語を好きになつてもらえるよう、1・2学年の授業はALTと一緒に歌を歌ったり、ジェスチャーを用いて体を動かしながら楽しく英語を学べる体験型に構成しています。英語に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力

の素地を養っています。

地域の教育力を生かして

語学は使い続けることで身に付くものであり、学校で学んだ事を日常で実践することが大切です。

古河市は、地域コミュニティの活動が活発です。市民団体や地元企業、国際交流協会、高校生ボランティア等と協力することで、学校のみならず、日常生活の中でも英語と触れ合える時間を増やし、地域の力で子どもたちを支えていきたいと考えています。また、ボランティア等を活用することで、経済的負担を軽減し、子どもたちが平等に英語を学べる環境を整えたいと思っています。

未来を担う子どもたちへ

2年後の東京オリンピックに向けて、これから外国人旅行者はますます増加すると言われています。街中で突然英語で話し掛けられることがあるかもしれません。

古河市では、そんな時に臆せず会話ができる児童生徒を育てたいと考えています。